

今でも平均11時間超の長時間勤務

先生をこれ以上働かせないで



変形労働制導入案反対で 共産党が提言

日本共産党の小池晃書記局長は10月21日、公立学校の教員に1年単位の変形労働時間制を導入することに反対する党の「提言」を発表しました。吉良よし子参院議員が同席しました。

●「1日8時間」の原則崩壊

小池氏は、人間の心身は、「繁忙期」の疲労を「閑散期」で回復できるようなにはなっていないとして、「1年単位の変形労働時間制は人間の生理にあった1日8時間労働の原則を破るものだ」と批判。学期中の労働時間がさらに長くなるとともに、さまざまな弊害と矛盾が生まれる、と指摘しました。

導入の第一の理由は「教員の夏休みのため」です。しかし今の学校は夏休み中も業務があり、年次有給休暇の消化すらできていないのが現状。小池氏は①行政研修などの夏の業務削減②代休等の保障によってこそ教員は休みをとれるようになると提案しました。

小池氏は、1年単位の変形労働時間制を許さない取り組みを進め、導入に必要な都道府県や政令市の条例改正をしない、各学校でも導入しない決断をすることの重要性を指摘。「国は制度導入の圧力をかけるべきではない」とのべました。

●教員を増やしてこそ

日本共産党は昨年11月「教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を」を提言。①授業数に比べあまりに少ない教員の定数増②国・自治体、学校双方からの不要不急の業務の削減一などの抜本的な対策を求めています。

共産党提言の骨子

- 一、問題を解決するどころか、平日の長時間労働を固定化、助長する
 - 学期中の労働時間がさらに長くなる
 - さまざまな弊害と矛盾
- 二、「教員の夏休みのため」という唯一の理由は成り立たない
 - 政府の宣伝のように、休みはとれない
 - 業務削減と代休等の保障こそ、休みがとれるようになる道
 - 教員の自主研修の保障
- 三、全国各地で「1年単位の変形労働時間制」を許さないとりくみを
- 四、政府は、長時間労働をなくす抜本的な対策をとれ

提言の全文
はHPで→



先生を増やし、長時間労働是正を!!

政府案では、日々の先生たちの長時間労働は野放しになり、むしろ残業増につながりかねません。先生の健康と生活のためにも、そして、子どもたちに豊かな教育を保障するためにも、先生を増やすべきです。全力をあげます。



参議院議員(東京選挙区選出)
やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2019年10・11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

今でも平均11時間超の長時間勤務

先生をこれ以上働かせないで



変形労働制導入案反対で 共産党が提言

日本共産党の小池晃書記局長は10月21日、公立学校の教員に1年単位の変形労働時間制を導入することに反対する党の「提言」を発表しました。吉良よし子参院議員が同席しました。

●「1日8時間」の原則崩壊

小池氏は、人間の心身は、「繁忙期」の疲労を「閑散期」で回復できるにはなっていないとして、「1年単位の変形労働時間制は人間の生理にあった1日8時間労働の原則を破るものだ」と批判。学期中の労働時間がさらに長くなるとともに、さまざまな弊害と矛盾が生まれる、と指摘しました。

導入の第一の理由は「教員の夏休みのため」です。しかし今の学校は夏休み中も業務があり、年次有給休暇の消化すらできていないのが現状。小池氏は①行政研修などの夏の業務削減②代休等の保障によってこそ教員は休みをとれるようになると提案しました。

小池氏は、1年単位の変形労働時間制を許さない取り組みを進め、導入に必要な都道府県や政令市の条例改正をしない、各学校でも導入しない決断をすることの重要性を指摘。「国は制度導入の圧力をかけるべきではない」とのべました。

●教員を増やしてこそ

日本共産党は昨年11月「教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を」を提言。①授業数に比べあまりに少ない教員の定数増②国・自治体、学校双方からの不要不急の業務の削減一などの抜本的な対策を求めています。

共産党提言の骨子

- 一、問題を解決するどころか、平日の長時間労働を固定化、助長する
 - 学期中の労働時間がさらに長くなる
 - さまざまな弊害と矛盾
- 二、「教員の夏休みのため」という唯一の理由は成り立たない
 - 政府の宣伝のように、休みはとれない
 - 業務削減と代休等の保障こそ、休みがとれるようになる道
 - 教員の自主研修の保障
- 三、全国各地で「1年単位の変形労働時間制」を許さないとりくみを
- 四、政府は、長時間労働をなくす抜本的な対策をとれ

提言の全文
はHPで→



先生を増やし、長時間労働是正を!!



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山 添 拓

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2019年10・11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党